

石綿（アスベスト）含有建材の特徴

建 材 名（一般名） （通 称）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種 けいカル板
---------------------	---------------------------

規 格 等

- ・JISA 5430 繊維強化セメント板 - (けい酸カルシウム板)

製造期間

- ・製造開始は、1960年である。
- ・製造終了は、2004年である。

建材の特徴

○性質、寸法、形状など

- ・軽量で耐火性、断熱性に優れている。
- ・素板での使用の他にタイル目地、エンボス加工、単色系化粧板等メーカーにより多様なデザインがある。
- ・けい酸カルシウム板を基材として、表層材に塩ビシート、突板、化粧紙、樹脂塗装などの化粧加工をした不燃化粧板がある。
- ・寸法（壁材の例）

厚さ (mm)	幅 × 長さ (mm)
5	標準寸法 910 × 1820
6	910 × 2420
8	910 × 2730
10	
12	

○主な施工部位、使われ方など

- ・一般建築物の天井材、壁材として使用されている。
- ・住宅では、火気使用室（台所、浴室、出窓の天板・地板の裏打ち材など）を中心に内装材として使用されている。
- ・浴室などのタイル下地に使われている。（タイル補強板と呼ばれていた。）
- ・耐火間仕切壁として8mm、12mmの複合材、石膏ボードとの複合材として使用されている。
- ・外装では、軒天井材とその関連部材、準防火地域での軒裏などに使用されている。

施工例

